



てんかんセンター巡り 第5回



順天堂大学医学部附属順天堂医院

てんかんセンター

施設概要

住 所 〒113-8431 東京都文京区本郷3-1-3
電 話 03-3813-3111 (代)
ホームページ <http://www.juntendo.ac.jp/hospital/epilepsy/>

総病床数 1,005床
日本てんかん学会専門医(指導医)の人数 脳神経外科2人(1人)

施設の特徴

順天堂医院は1838年に佐藤泰然^{たいぜん}によって開学された「和田塾」を起源とする、歴史のある病院の一つです。われわれは、歴史の重みを十分に感じながら、最新の医療が提供できるように取り組んでいます。また、順天堂てんかんセンターは都心に位置しており、近隣には東京医科歯科大学や東京大学もあり、診療や研究の面で協力をしているというユニークな環境にあります。

当てんかんセンターは脳神経外科を中心

にスタートしましたが、どの診療科に受診されても、十分な診察と検査、治療が行えるように留意し、症例検討会で議論をするようにしています。てんかん発作に対しての治療のみでなく、クオリティ・オブ・ライフの向上を治療の目標にしています。歴史、都心、大学病院というと垣根が高い印象がありますが、スタッフは皆、親しみやすさを心がけていますので、躊躇^{ちゆうちよ}されることなく受診していただけたと思います。

順天堂大学病院は、東京都内および近郊にある附属病院でも診療を行っています。順



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会

天堂練馬病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、順天堂浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂静岡病院がそれにあたります。これらの病院で治療をされている患者さんは、必要時には御茶ノ水の本院で検査、治療方針の決定、てんかん外科手術を行っていただき、症状の安定後には通院に負担をかけない元の病院での治療継続が可能となります。現在は附属病院のみならず、地域の基幹病院との連携も構築しているところです。



てんかんセンター外来
1号館3階Aブース

施設の取り組み

順天堂の小児科は、歴史的にみても小児神経の治療に重きをおいてきた経緯があります。また、脳神経外科も小児脳神経外科を主たる専門分野としてきました。よって、小児の難治性てんかんの治療には、特に重点をおいています。従来からの治療経験を元に、新しく安全な治療を提供することが、われわれの目標です。これらの目標を達成するためには、小児難治性てんかんに対する研究を行うことが必須であり、てんかんの原因究明、脳波および画像解析、脳可塑性等の研究を行っています。

小児の治療のみでなく、成人のてんかんに対しては、脳神経内科、脳神経外科、メンタルクリニックが協力して治療に当たる体制をとっています。自動車の運転や妊娠など

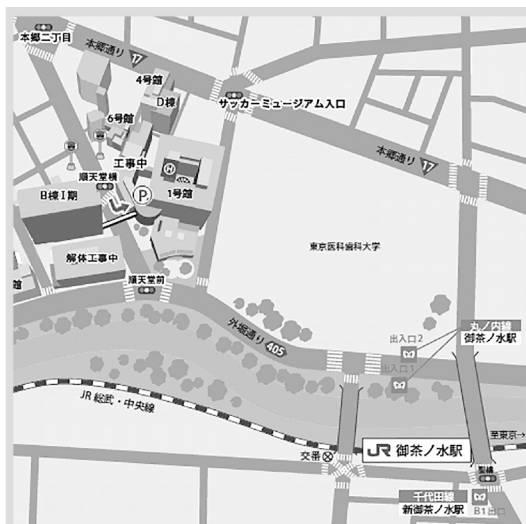
の問題にも種々の治療選択肢を提案したり、生活指導をしたり

することで、可能な限り患者さんのニーズに応えたいと考えます。

検査の中心はビデオ脳波同時記録であることは、他のてんかんセンターと同様です。個々の患者さんの発作を正確に把握しなければ、その後の治療を組み立てることができないということに基づいているからです。本検査は数日間の入院が必要ですが、患者さんの生活に負担をかけないように週末に行っています。通常、他の検査は通院で行いますが、遠隔地からの患者さんや小児では入院にて検査を行うなどの考慮をしていますので、担当医師にご相談ください。

順天堂てんかんセンターの外来は、1号館3階A受付にあります。

(脳神経外科 菅野 秀宣)



最寄り駅

JR：御茶ノ水駅、水道橋駅
東京メトロ：丸の内線御茶ノ水駅、千代田線新御茶ノ水駅
都営地下鉄：三田線水道橋駅